



「居眠り磐音」決定版のサイン本作りが進む
写真提供：佐伯泰英事務所

佐伯通信

2019年3月(平成31)
第47号
発行
佐伯泰英事務所
担当/光文社
禁・無断転載

桜、咲くか。

去年のことだ。六、七十
年は経っていると思える美
生の山桃が枯れた。生来、
山桃、椿、松は潮風に強い
はずだが、幹廻り一メートル
は優に超える山桃が、家
の壁に寄り掛かるように倒
れ込んできた。
万物ダメになるときはか
ようなことか。この山桃

それなりに大きな樹木だっ
たゆえ、台風折など私の
書斎兼寝室の防風木として
心強い存在だった。
ともあれ今後の台風到来
を考えるとわが部屋の外に
防風の樹木が欲しい。枯れ
た山桃程の大きさに育つに
は何十年もかかる、となる
とこちらの命がない。あれ
これと迷った末に桜の木は
どうかと考えた。愛犬みか
んの散歩に行く多賀の海辺
には八重桜が咲いている。
桜の生育は結構早い、また
わが家は大島桜、染井吉野
枝垂れ桜はあるが、八重桜
はない。そんなわけで造園

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

7月 10日	6月 12日	5月 29日	4月 10日
『旅仕舞』 〔初版の初回出荷分のみ狭み込み〕	『春淡し』	『新・古着屋総兵衛』 18	『武士の賦』
『新・酔いどれ小籐次』 14	『吉原裏同心抄』	『日の昇る国へ』完	『居眠り磐音』

4月10日	4月10日	5月10日	6月7日	7月10日
④『雪華ノ里』	⑤『龍天ノ門』	⑥『雨降ノ山』	⑦『狐火ノ杜』	⑧『朔風ノ岸』
⑨『遠霞ノ峠』	⑩『朝虹ノ島』	⑪『無月ノ橋』	⑫『居眠り磐音』 〔決定版〕	

大きな転機と、平成の終わり

光文社 文庫編集部
「吉原裏同心抄」「吉原裏同心」
「夏目影二部始末旅」担当

小口 稔

みなさま、『夢を釣る 吉原裏同心抄』をお読みいただきありが
とうございます。前作『木枯らしの』の最後で、幹次郎と吉原会所の七
代目頭取である四郎兵衛との間に重要な話がなされましたが、その
驚くべき中身がこの巻で明かされました……。まさに吉原にとっても、
幹次郎(と汀女と麻)の人生にとっても、そして物語にとっても大きな
転機を迎えることになりました。

転機といえば、この四月いっばいで「平成」も終わりますね……。
バブル崩壊から始まり、さまざまな重大事件や未曾有の天災と、多くの
困難に見舞われた平成ですが、そんな時こそ小説の世界へ夢を
馳せて、明日への糧にしてきた方も多いかと思います。佐伯先生の
作品はまさにそのような「夢」を描いていらっしゃると思います。これ
からの新しい時代も、読者の皆さんと一緒に私自身もこの夢の世界
を見守っていきたくと思っています。

さて、近刊案内にもありますが、例年、三月と十月に刊行されてい
る「吉原裏同心抄」が、今年は六月にも刊行されます。新しい元号と
なる五月に公開される『居眠り磐音』の映画もたいへん楽しみです
が、「吉原裏同心抄」も一緒に盛り上がっていきたく思います。今後
ともどうぞよろしく願っています。

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2019年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
(株)光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋

屋に相談し、うちの敷地に
運び上げるのでできる最
大の大きさの八重桜を頼ん
だ。
植え込みが終わったのは
昨秋のことだ。この原稿を
書いて一月末、高さ五
メートルほどの八重桜に小
さな蕾が生じてきた。四月
になるのが楽しみだ。
昨年末のことだ。ただ今
制作中の映画『居眠り磐音』
の初号試写をイマジカの一
号館で見た。このところ映
写室で見た。このところ映
画館とは縁遠かったせいも
あり、大きな画面で見る映
像には圧倒された。

時代劇初主演という松坂
桃李君も見事な殺陣と爽や
かな人柄を見せてくれた。
スタッフ・キャストの方々
が原作を大事にして制作し
てくれたのがよく分かる。
原作同様に祖父、嫁、孫と
三代で楽しめる作品に仕上
がっていて感激した。
公開は新しい元号となっ
たばかりの五月十七日だ。
八重桜も映画も大輪の花
を咲かせてくれるといいの
だ。

「居眠り磐音」決定版 出版社からのお知らせ ● 文春文庫 刊行記念プレゼントキャンペーン 2019

5月17日全国公開
A賞 映画「居眠り磐音」
ペア鑑賞券 (100組200名様)

B賞 特製「居眠り磐音」
ブックマーカー (300名様)

1月刊『奈緒と磐音』、2月刊『陽炎ノ辻』、3月刊『寒
雷ノ坂』『花芒ノ海』の帯についている応募券2枚
をはがきに貼り、お送りください。
※詳しくは、各巻の帯をご覧ください。

応募締切迫る!
2019年3月31日
当日消印有効